

第97期 中間報告書

2026年1月1日 ▶ 2026年6月30日

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、このたびの「令和8年熊本地震」により被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

さて、当社グループの第97期上半期（2026年1月1日から2026年6月30日まで）の業績および今後の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

証券コード 4186

代表取締役 取締役社長

種市順昭



Q1

当上半期における
業績について教えてください。

当上半期における当社グループ製品の主な需要先であるエレクトロニクス市場においては、データセンター向けAIサーバー需要の拡大が半導体市場全体の成長を牽引し、半導体需要は前年同期を上回りました。

このような情勢下、当社グループは2027年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「tok中期計画2027」を推進しております。2026年2月には半導体市場および為替動向等を踏まえ、定量目標の一部見直しを行い、引き続き、全社戦略の推進に総力をあげて取り組んでまいりました。

まず、エレクトロニクス機能材料は、生成AI向けの需要増加等を背景にEUVレジスト、KrFレジストおよび後工程関連材料の売上が好調に推移しました。また、高純度化学薬品は、顧客の新工場稼働により需要が拡大したことで、販売が大幅に伸長しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ280億円増加し1,396億円（前年同期比25.1%増）となりました。

利益面においては、売上高の増加や為替効果により、営業利益は前年同期に比べ90億円増加し288億円（同45.4%増）、経常利益も前年同期に比べ98億円増加し302億円（同48.5%増）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、営業利益の増加により前年同期に比べ67億円増加し204億円（同49.9%増）となりました。

Q2

配当金については、いかがですか。

当期の中間配当金につきましては、DOE（連結純資産配当率）4.0%を目途とする配当方針に基づき、前期中間配当金35円から5円増配し、1株当たり40円とさせていただきます。

Q3

通期の見通しについて
教えてください。

下半期においては、世界的に旺盛な生成AI関連需要の拡大を想定しており、エレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品ともに売上高の増加を見込んでおります。通期業績につきましては、当上半期の業績および今後の市場状況を踏まえ、期初予想数値を上回ることが見込まれるため、業績予想を修正いたしました。

その結果、通期の売上高は前年に比べ539億円増加の2,910億円（前年比22.8%増）、営業利益は前年に比べ132億円増加の606億円（同27.9%増）、経常利益は前年に比べ137億円増加の630億円（同27.9%増）と、いずれも過去最高となる見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益も、前年に比べ92億円増加の426億円（同27.8%増）と過去最高を更新する見通しです。さらに、通期の営業利益およびEBITDAは、「tok中期計画2027」の目標数値を上回る見込みとなっております。

株主の皆様のご期待に応えられるようグループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社のウェブサイトでは2026年12月期第2四半期決算説明会の模様をご覧いただけます。

当社ウェブサイト

株主・投資家情報

IRライブラリ

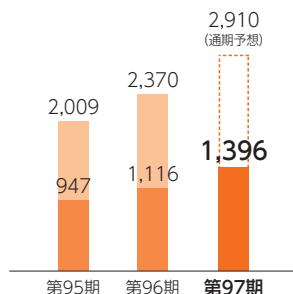
<https://www.tok.co.jp/ir/library/2026>

連結損益計算書の概要

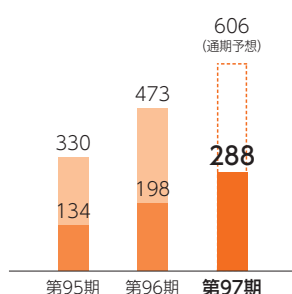
■ 上半期 ■ 通期

(単位：億円)

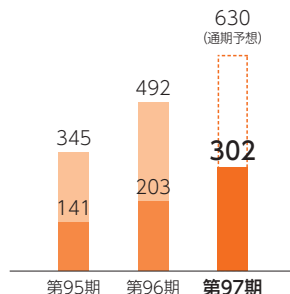
売上高



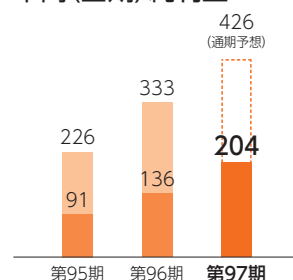
営業利益



経常利益

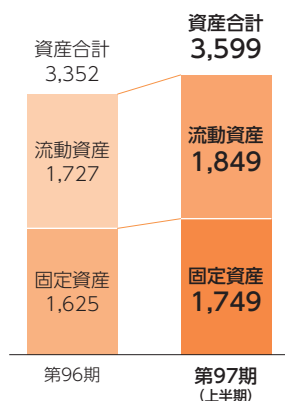


親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益



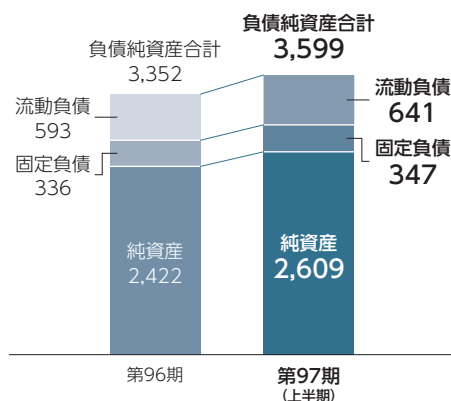
連結貸借対照表の概要

資産の部



負債・純資産の部

(単位：億円)



資産の部

- ・受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことにより、流動資産が増加。
- ・設備投資によって有形固定資産が増加したことにより、固定資産が増加。

負債・純資産の部

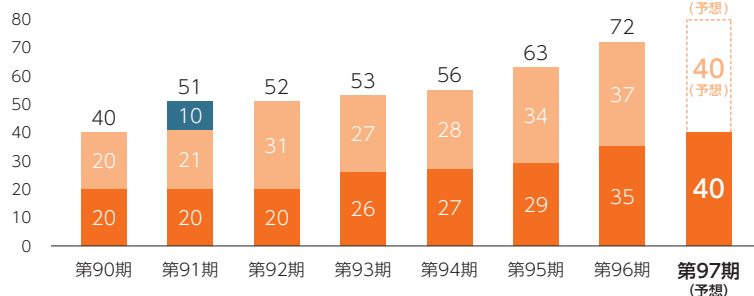
- ・支払手形及び買掛金が増加したことにより、負債合計が増加。
- ・利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が増加したことにより、純資産が増加。

1株当たり配当金の推移

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別配当

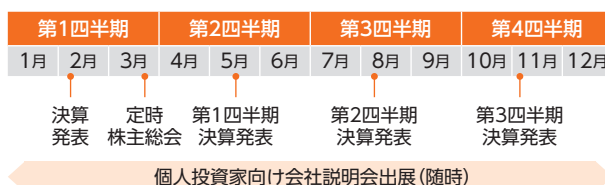
(単位：円)

- * 2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
- * 第94期以前は上記株式分割後の株式数に換算しており、1円未満は切り捨てて算出しております。
- * 第91期の1株当たり配当金には特別配当10円が含まれております。



個人投資家向け会社説明会を開催

当社は、事業戦略・業績などの会社情報を株主や投資家の皆様にご理解いただくために、適時、適正、かつ公平な情報開示を徹底し、積極的なIR活動に取り組んでいます。当上半期は、個人投資家の皆様との対話の場所として熊本、大阪、東京、札幌、高松で個人投資家説明会を開催し、多くの投資家様にご参加いただきました。下半期も開催を予定しております。



「健康経営優良法人2026 (大規模法人部門)」に認定

当社は、3月9日、「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。

当社グループは、長期ビジョン「tok Vision 2030」において「豊かな未来、社会の期待に化学で応える“The e-Material Global Company™”」を経営ビジョンとして掲げ、さらなる従業員の健康増進に向け、2022年6月に「健康経営宣言」を策定しました。今後もより一層の従業員およびその家族の健康維持と増進のため、健康経営優良法人として、さらなる健康経営に取り組んでまいります。



Irresistible Materials社との EUVリソグラフィの進展に向けた 戦略的投資および 共同開発パートナーシップを締結

極端紫外線（EUV）リソグラフィ向けの革新的なフォトレジスト材料の開発をリードするIrresistible Materials, Ltd.（以下、IM社）と当社は、EUVリソグラフィ向けフォトレジストのイノベーション加速を目的とした、戦略的投資および共同開発パートナーシップを締結しました。本提携により、IM社の革新的なMTRプラットフォームの共同開発と事業化をこれまで以上のスピードで進め、半導体業界全体のEUVリソグラフィを前進させる新たなフォトレジスト技術の時代を切り拓いていきます。

「第5回日経統合報告書アワード」 において「準グランプリ」を受賞

当社は、日本経済新聞社が主催する「第5回日経統合報告書アワード」において、「準グランプリ」を受賞しました。当社は、今回の受賞を励みに「統合レポート」のさらなる改善・充実に取り組むとともに、適時・適切な情報開示に努め、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様との対話を通じて、企業価値の向上に努めてまいります。最新の「統合レポート2026」は右側の二次元コードからアクセス可能です。ぜひご覧ください。



福島県郡山市における工場用地を取得

当社は、3月25日、福島県郡山市と郡山西部第一工業団地（第2期工区）の土地売買契約を締結しました。当社は1994年より、郡山西部第二工業団地内の郡山工場を主力生産拠点の一つとして運営しており、フォトレジストおよび高純度化学薬品の製造を行っています。今回新たに取得した用地は、郡山市内において当社2カ所目の工場用地となるものです。



当社グループは、長期ビジョン「tok Vision 2030」の実現に向け、「tok中期計画2027」において将来の市場の変化にも柔軟に対応できる事業基盤強化のため、戦略的投資を進めています。

日米企業による次世代半導体 パッケージ開発・コンソーシアム 「US-JOINT」が本格稼働

当社は、次世代半導体パッケージ分野における新たな技術開発モデルの構築を目指し、日米の材料・装置メーカーなど12社から成るコンソーシアム「US-JOINT」に参画しました。創業以来培ってきた世界最高水準の微細加工技術と高純度化技術を活かし、高性能・高純度なフォトレジストなどの製品を通じて、次世代半導体の進化を加速させるとともに、社会の期待に化学で応える価値創造を推進してまいります。



経済産業省、東京証券取引所により 「SX銘柄2026」に選定

当社は、5月18日、「SX銘柄2026」に選定されました。

「SX銘柄」は、今後先進的なSX経営の取組みが日本の幅広い企業に普及していくとともに、国内外の投資家等との対話やエンゲージメントが一層促進されることで、投資拡大、ひいては資本市場における日本企業に対する評価が向上していくことを期待して公表されたものです。

当社グループは、今後もステークホルダーの皆様との協働を通じ、持続的な企業価値向上に努めてまいります。

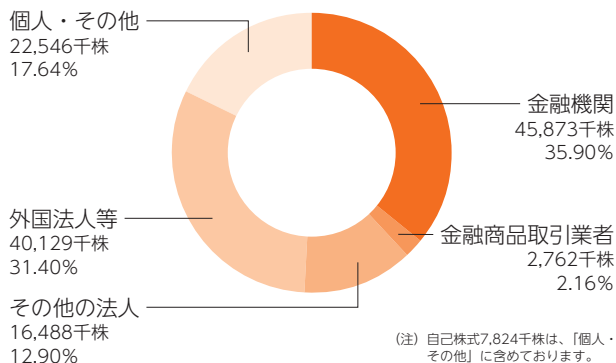


株式の概況 (2026年6月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式の総数	127,800,000株 (自己株式7,824,091株を含む)
株主数	30,660名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	16,607	13.84
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	5,926	4.94
明治安田生命保険相互会社	5,479	4.57
株式会社三菱UFJ銀行	3,622	3.02
株式会社横浜銀行	3,079	2.57
公益財団法人東京応化科学技術振興財団	2,954	2.46
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,861	2.38
三菱UFJキャピタル株式会社	2,580	2.15
GOVERNMENT OF NORWAY	2,378	1.98
東京海上日動火災保険株式会社	2,314	1.93

(注) 1. 当社は、自己株式を7,824千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数 (119,975,909株) を基準に算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	
期末配当金	毎年12月31日
中間配当金	毎年6月30日 その他必要ある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 (連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〒137-8081 (郵送先) 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行いますが、事故その他やむを得ない事由によりできない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告掲載URL) https://www.tok.co.jp/company/public_notice.html
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	4186

ご注意

- 住所変更、単元未満株式 (100株未満の株式) の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、当社定款の規定により、支払開始日より満3年を経過いたしますとお受け取りいただけませんので、お早めに最寄りの三菱UFJ信託銀行本支店でお受け取りください。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
	証券会社等の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
■単元未満株式の買取・買増請求 ■住所・氏名等のご変更 ■配当金の受領方法の指定 (注) ■マイナンバーに関するお届け・ご照会	□口座を開設されている証券会社等	左記の特別口座の口座管理機関
■特別口座から一般口座への振替請求 ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ		左記の株主名簿管理人

(注) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として「株式数比例配分方式」をお選びいただけません。



IRメール配信を行っています。ぜひご登録ください。 <https://rims.tr.mufig.jp/?sn=4186>



<https://koekiku.jp>

アクセスキー

株主アンケートにご協力ください

抽選でギフト券を進呈!

サービス運営会社: 株式会社プロネクサス
お問い合わせ: コエキク事務局 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

tok 東京応化工業株式会社

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地
電話 044-435-3000 (代表)



ユニバーサルデザイン (UD) の
考えに基づいた見やすいデザインの
の文字を採用しています。